

侮辱罪厳罰化、その後の課題

ヤサシイハナをサカセマショウ ❤



NPO法人リメンバーハナ



木村 韶子 南條



リメンバーハナ代表・元プロレスラー

木村響子【木村花母】

失意の中、自らを奮い立たせるため
現役時代の髪型アフロヘアーに変身
奮闘中！

令和2年5月、SNSでの誹謗中傷により
最愛の娘である木村花さんを失った母、響子が、
そのかなしみ、苦しみ、無力さに苛まれる中で、
せめて、花さんのためにできることはできないかと考え
2021年 NPO法人リメンバーハナを立ち上げ、
誹謗中傷を終わらせるための
様々な啓発活動を積み重ねている

SNS 誹謗中傷の
被害者にも
加害者にも
ならないための
SNS・人権モラル教育

<https://rememberhana.com/>

相談窓口

周知促進
受付対応

ロビー
活動



講演
授業
研修

啓発

REMEMBER
HANA

絵本
よみきかせ

REMEMBER HANA は、
SNS の誹謗中傷を終わらせるためにできることを、
小さなことから、積み重ねていきます。

SNSを気にしすぎて勝手に死んだ馬鹿な女の為に法改正とは呆れる。

自分自身も書き込んでたからSNSが気になってたんだろ？くだらなすぎる。

ネット上の誹謗中傷も...「侮辱罪」を厳罰化 改正刑法が成立
木村花さん母「やっと」(テレビ朝日系(ANN))

#Yahooニュース
news.yahoo.co.jp/articles/c2816...

11:42 · 2022/06/14

返信をポスト

返信をポスト

返信をポスト

木村花さん母「やっと、という思いが強い」 改正刑法、侮辱罪厳罰化(毎日新聞)

#Yahooニュース
news.yahoo.co.jp/articles/ea289...

内容より容姿(髪型)の方が強い例

6:13 · 2022/06/14

返信をポスト

返信をポスト

返信をポスト

返信をポスト

返信をポスト

なんにせよ、

木村響子さんと木村花さん、侮辱罪厳罰化を頑張って、本当に息苦しい社会を作ってくれた。プロレスラーはリングで戦え。裁判所で戦ってどうするのか。

23:06 · 2025/07/01 · 380回表示

返信をポスト

返信をポスト

返信をポスト

返信をポスト

返信をポスト

木村花さん母「やっと、という思いが強い」 改正刑法、侮辱罪厳罰化 | 每日新聞 mainichi.jp/articles/20220...

政治家に利用されてしまった事に気が付いていないんだな。



木村花さん母「やっと、という思いが強い」 改正...

場所: mainichi.jp



①被害者と加害者の重大なギャップ

【被害者】・削除、開示請求手続きに多大な労力、お金、時間がかかる 心身消耗する

- ・体調不良・不眠・人間不信・人が怖い・拒食・過食
- ・不安・恐怖・辛さを理解されにくい・絶望・孤立
- ・外出ができない・学校、会社に行けない・日常生活に支障
- ・思考低下・情緒不安定・体が動かない・自己肯定感の低下
- ・SNSを見なくとも 頭や心からひぼう中傷のことが消えない
- ・ストレス障害・パニック障害・うつ病・希死念慮・自死

解決のためにやらざるを得ないこと

- ・証拠集め・相談窓口探し・弁護士相談
- ・時間とお金の工面・メンタルケア

【開示請求】

- ・時間とお金をかけて弁護士に依頼しても、加害者を特定できないこともある
- ・民事でも損害賠償額は低く、支払われないことが多い
- ・お金目当てなど、更なるひぼう中傷も

【加害者】・いつどこでも簡単にすぐに書き込み・削除できる

- ・ストレス・不満の解消・嫉妬・特性・自己肯定感の低さ
- ・承認欲求・正義中毒・認知の歪み・想像力、共感性の欠如
- ・匿名性とバンドワゴン効果・集団心理・自分の居場所
- ・炎上・売名・利益・ビジネス
- ・ドーパミン・常習性・依存性
- ・誹謗中傷の意識はなく、正当な批判、言論の自由
- ・被害者意識・表面的な謝罪・自分の正当性を疑わない

普段通りの生活

- ・誹謗中傷を続ける・エスカレート・脳へのダメージ

【加害者の特定】

- ・特定されて刑事罰を受けるのはごくわずか
- ・加害意識がない
- ・自分は不運だという被害者意識
- ・お金も仕事もない人もいる（未成年や失業者など）

②被害者救済の強化（現状）

【驚くほど 足りていない】

少数派

起訴・刑事罰

被害届

民事裁判

開示請求

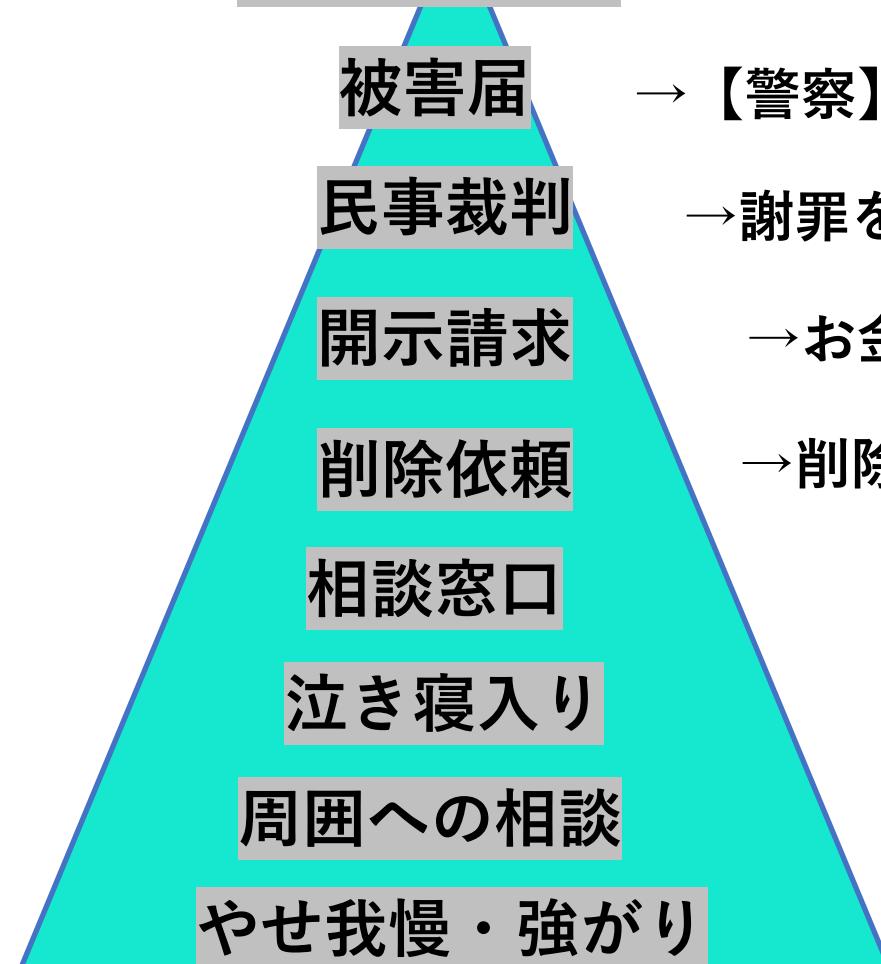
削除依頼

相談窓口

泣き寝入り

周囲への相談

やせ我慢・強がり



圧倒的多数

→ 【検察】場所や人によって対応が異なり、不起訴になる場合も

→ 【警察】場所や人によって対応が異なり、威圧的な態度に深く傷つく

→ 謝罪をしていた加害者は、裁判になると急変・罪を認めない

→ お金、時間、心身を削られる・ごく一部の人しかできない

→ 削除しても、新しいアカウントで続くひぼう中傷に疲弊

→ 問題が解決するとは限らず、不適切な対応に絶望

→ 金銭、時間的、心身の余裕がなく、何もできない

→ 辛さを理解してもらえることが少なく、孤立する

→ ひぼう中傷に平気なふりをすることでダメージは蓄積

弱者ほど被害の解決、救済から遠くなってしまう

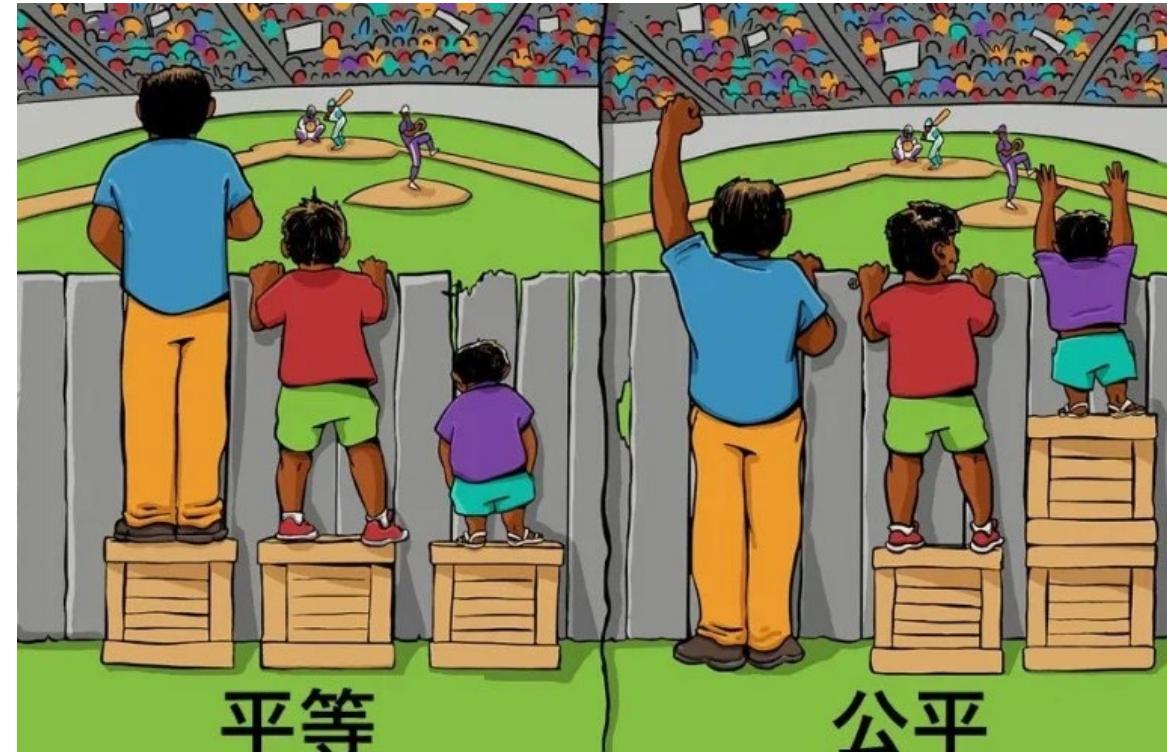
- ・未成年
- ・ひぼう中傷の被害で仕事ができなくなってしまった
- ・生活に余裕がない

マイノリティ

差別

声を上げた
被害者に対する攻撃

格差社会



SNSの無法地帯
何のための法律なのか？

イラスト : Interaction Institute for Social Change |
Artist: Angus Maguire
<https://interactioninstitute.org/illustrating-equality-vs-equity/> より (文言は日本語に変更)

③被害者救済の対策提言

【現状の課題】

- ・個人間の問題に矮小化されている
- ・権限がある人たちがSNSネイティブでない（被害の軽視）
- ・警察・相談窓口にSNSに特化した専門家がない
- ・対応が後手すぎる
- ・縦割り行政の弊害（たらい回し）
- ・エビデンスが少ない

【ワンストップ支援センター】

- ・社会問題なので国が本気を出しましょう
- ・SNSネイティブの世代をリーダーにする（世代間ギャップ解消）
- ・SNSに特化した弁護士・カウンセラー・精神科医・警察など連携
- ・SNSの問題の変化を常にアップデート（スピードアップ）
- ・行政横断チームが必要
- ・脳の仕組みや依存症などの研究→根本の解決
- ・被害者支援金などの予算（命に関わる）

【加害者の背景】

- ・孤立・不満・苦しみ・居場所がない
- ・認知の歪みについて気づくきっかけ作り
- ・問題を抱えている
- ・幸せではない
- ・特性
- ・文脈の理解力・対話力養成講座
- ・他の楽しみ・ストレス解消方法

被害者も加害者も利用でき、
任意でデータを積み重ねていく

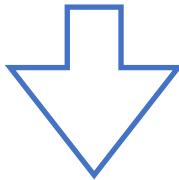


細やかで適切な法整備

- ・悪質なデマなどのファクトチェックの発信
 - ・AI・Grokに予習・判定
- ・被害者の救済と加害者の受け皿を両立する
 - ・SNSでの人権侵害を先回り・啓発・予防

④抑止効果

- ・あったとは感じている（犯罪という認識が広まった）
 - ・SNS人口も増加しているため、比較が難しいが過激なひぼう中傷は減り、グレーゾーンのものが増えた印象



厳罰化での抑止力の限界

- ・対処療法的な方法であり、根本的な解決にはならない。
- ・プラットフォームにガイドラインだけでなく、罰金・罰則を
- ・従来の法律に当てはめていくのではなく、SNSに特化した法律が必要不可欠
- ・各国で活発に議論され新しい法律もできているのに、なぜできない？
- ・子どもたちを守るために、年齢制限の法規制の議論が必要では？

詐欺

オンラインカジノ

誹謗中傷

個人情報

デマ

出会い系アプリ

犯罪

グルーミング

麻薬

侮辱

名誉毀損

借金

炎上

SNSいじめ

性被害

危険チャレンジ

闇バイト

— 子どもたちをトラブルから守るために —

アメリカ



COPPA

児童オンラインプライバシー保護法

13さい未満 利用禁止

EU諸国



GDPR

一般データ保護規制

SNSは16さい以上

オーストラリア



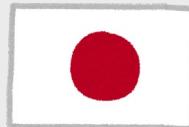
Online Safety Amendment

(Social Media Minimum Age) Act 2024

オンライン安全改正法（SNS最低年齢）2024

16さい未満 利用禁止

日本



個人情報の同意について

年齢制限なし

④悪用の可能性

【政治家や権力者による言論封殺】

厳罰化反対の方達が懸念されていた
侮辱罪事例集を見たところ
特に目立ったものは見つからなかったが
実際にそういうことはあったのか?
なかったのならば、広く周知してほしい

【スラップ訴訟】

経済力のある方々・特定の弁護士が
言葉狩りのような形で
大量の開示請求→示談目的?
深刻な被害を受けている方の救済が
さらに難しくなってしまうのでは?

【対策案】

オンブズマン制度の導入（ワンストップセンターと連携）

政治家・権力者に対して
国民は根強い不信感があるため、
利害関係のない第三者のジャッジによって
公人・有名人・スポーツ選手を
デマやひぼう中傷から守る

ありがとうございました

NPO法人 リメンバーハナ *



Hana Kimura



NPO法人
リメンバーハナ



木村 韶子
南條